

科 目	受 験 生 記 入 欄			(ア)	(イ)
	科	声種：	受 験 番 号		
音楽史 (作曲) / 枚のうちの / 枚目	専攻	楽器：	番		

以下の6問題から2問題を選んで答えなさい。

解答は必ず1問題ごとに解答用紙(800字詰め)を1枚ずつ使い、各解答用紙の冒頭の1マスに選択した問題の番号を明記すること。

- 音楽における「偶然性」概念を巡る異なる見解について、作品例を挙げ、比較しながら論じなさい。
- パレストリーナとオルランド・ディ・ラッソの作風を比較し、両者が西洋音楽史上に果たした役割について論じなさい。
- モーツァルトの交響曲について、具体例を複数挙げながら論じなさい。
- 以下の項目から四つを選び説明しなさい。

(1) 連作歌曲	(2) ジョヴァンニ・ガブリエリ
(3) アルノルト・シェーンベルク『Style and Idea』	(4) R.ワーグナー『Oper und Drama』
(5) グルックのオペラ改革	(6) ブルゴーニュ楽派
(7) Henri Pousseur, <i>Votre Faust</i>	(8) <i>Stile rappresentativo</i>
(9) Donaueschinger Musiktage	(10) 13～14世紀のモテトウス
- 1960年代に作曲された、邦楽器を用いた作品を一つ挙げ、その概要と特徴を述べなさい。
- 日本・東洋の音楽文化に対してシルクロードが果たした役割を、複数の側面から論じなさい。